



JPI催しのご案内

2019
11

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 令和元年11月28日(木) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,300円(1部会、税込)

第1部 第228回包装資材研究会

13:15~15:00

[テーマ] パルプ素材によるプラスチック削減の取り組み ~紙製バリア素材「シルビオバリア」について

海洋ごみによる汚染問題は、それによりウミガメ、海鳥、クジラなどの生物が傷つき脅かされる報道に象徴され、注目を集めています。この汚染の主要因の一つとしてクローズアップされているのが「マイクロプラスチック」であり、欧州をはじめとする多くの国々において、使い捨てプラスチックに対する規制の強化が実施・検討されてきています。紙製品のもとになる「パルプ素材」は植物由来の素材であり、これからの使い捨て容器・包装に求められる環境への対応に対して、一つの手段になりうるものと考えられます。王子エフテックスでは、パルプ素材による様々な容器・包装材料を開発・提供してまいりました。今回はこれらパルプ素材による容器・包装材料のご紹介を行うとともに、新たに開発した紙製バリア素材「シルビオバリア」の特徴と応用の可能性についてご紹介いたします。

[講師] 王子エフテックス株式会社 営業本部製品開発部 部長

門田 優氏

[コーディネーター] (株)J-オイルミルズ サプライチェーンコントロールセンター 資材部長 包装管理士

日高 和弘氏

サッポロビール(株) 生産・技術開発部 シニアマネージャー 包装専士

柳川 宏児氏

第2部 第229回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

[テーマ] 前半：食品容器の変遷とプラスチック容器の進化と環境問題について 後半：容器製造と供給の自動化事例について

前半：食品容器は缶、ガラス瓶、紙、プラスチックなど様々な材料を用いて、進化を続けて来た。その中でプラスチックの果たした役割は非常に大きなものがあった。近年は環境問題からプラスチックが問題視されているが、プラスチックは賞味期限延長によるフードロス削減、高齢化に対応した利便性などに今後も貢献出来る素材と考えられる。今回は食品容器のこれまでの変遷とプラスチックの環境問題とその対応、将来予測について、考えを述べる。

後半：食品包装容器には様々な材質・形状・サイズがあり、出荷形態も顧客仕様に合った仕様となる。

そのため、社内の生産設備開発時には多品種に対応させるフレキシブル性が要求される。

また、包装容器の取り扱いに精通していることから、顧客生産設備の技術的支援として、包装容器供給システム等の自動化システムを開発し、納入させていただいている。

共に商品に優しく、且つ高い生産性と高い信頼性を兼ね備える必要から、専用設備の社内構想・設計を行っている。

本講演では、包装容器生産設備の自動化システムについて、社内外の採用実例を主に紹介する。

[講師] 前半：東罐興業(株) 技術開発本部 研究開発部 部長

中條 修氏

後半：東罐興業(株) 技術開発本部 設計工作部 部長

馬込 礼貴氏

[コーディネーター] (株)明治 研究本部 技術研究所 包装技術研究部 包装技術G G長 包装管理士

中尾 隆志氏

ライオンエンジニアリング(株) エンジニアリング事業統括部 技術部 包装グループ チーフリーダー

大野 良二氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。

お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたいようお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤

TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

11月度見学会 ECOS FACTORY見学会 ※詳細は当会ホームページをご覧ください。

【開催日時】 2019年11月15日(金) 13:00~14:30 (予定)
【集合場所】 JR高崎線 本庄駅 (具体的な集合場所は後日ご連絡致します。)
【集合時間】 12時20分 (時間厳守)
【定員】 30名
【参加費】 無料

- ◆お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。
- ◆お申し込み方法は参加者募集パンフレットにご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。
- ◆参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。
- ◆同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

第57回 全日本包装技術研究大会(仙台大会) — 開催のご案内 —

【主催】 公益社団法人日本包装技術協会 【後援】 経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・
【期日】 令和元年11月21日(木)~22日(金) 特許庁・他関連官庁
【会場】 仙台国際センター 【発表件数】 58件(予定)
【発表内容】 包装又は包装資材に関する研究 / 新技術・新システム・新素材の紹介 / 廃棄・リサイクルの容易性 /
包装の現場における改善・合理化の事例 / 省力・省資源・コスト低減の事例など
【部会】 ①包装資材部会 ②食品包装部会 ③生活者包装部会 ④化粧品包装部会 ⑤輸送包装部会
⑥環境包装部会 ⑦パッケージデザイン部会

聴講希望の方は当会HPをご覧くださいか、申し込みパンフレットを事務局にご請求下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

— 軟包装の知識について短期習得を目指す —

第36回 フレキシブルパッケージコース

【開催日】 令和元年11月8日(金) 10:00~16:30 【会場】 (公社)日本包装技術協会A会議室
【講師】 下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏(包装管理士) 【定員】 70名
【参加費】 会員22,000円(消費税・テキスト代込み) / 一般38,500円(消費税・テキスト代込み)

受講のお勧め

フレキシブルパッケージ(軟包装材料)は、プラスチックフィルム、紙、金属箔などを原材料として製造される柔軟性のある包装材料である。これらは食品、医薬品などの内容物を直接包装するため高度な品質保持機能や安全・衛生性が求められる包装材料である。この講座は、フレキシブルパッケージの企画、開発、製造、などに携わる方々を対象とし、フレキシブルパッケージ技術の根幹となる包装設計を行うための基本的な知識を短期間で習得できるようにプログラム致しました。この機会に関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP(<http://www.jpi.or.jp>)からご確認ください。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第10回 食品包装コース

【開催日】 1日目(11月25日) 2日目(12月10日) 3日目(1月28日) 4日目(2月18日) 5日目(3月17日) 全5日間
【受講対象】 包装業務に就いて4年以上の経験をお持ちの方 【会場】 (公社)日本包装技術協会 会議室
【講師】 水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏 【定員】 50名
【受講料】 JPI会員60,500円 一般70,400円(消費税・テキスト代込み)

ご受講のおすすめ

本コースは、食品に関連する分野を仕事の業務とする方に対し、食品包装の基礎と仕事を進める上で、実務に沿った習得すべき広義の食品包装に関する内容を盛り込んでおります。食品包装について更なる知識の習得と体系付けに絶好の機会かと存じますので、関係各位お誘いあわせの上、奮ってお申し込み下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

[interpack インターパック包装視察団]のご案内

● 視察企画: (公社)日本包装技術協会 旅行手配: 日通旅行(株) ●

当協会では、2020年5月にドイツ・デュッセルドルフにて開催されるinterpackに視察団を派遣いたします。申し込み開始は11月下旬を予定していますので、詳細が決まりましたら、別途、ご案内を送付いたします。

◆視察期間: 2020年5月6日(水)~5月12日(火)【7日間】 ◆利用予定ホテル: ドリントメッセ・ケルン(シングルルーム利用)
◆利用予定航空会社: フィンエア(AY)

お問合せ先 (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:秋枝(あきえだ) TEL:03-3543-1189 e-mail:tokyopack@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。